

# 平成31年度 第1回高根地域委員会会議録

- 1 開催日時 平成31年4月23日(火曜日)  
午後4時45分開会～午後6時40分閉会
- 2 開催場所 高根総合支所 2階 大会議室
- 3 出席委員 保坂 行美・小島 久・浅川 二女子・原藤 進・手塚 順子・竹川 博志・  
古屋 昭彦・浅川 あけ美・小宮山 ひろみ・原 誠・中嶋 一・浅川 敬子・  
野田 聖佳
- 4 欠席委員 清水 より子・古屋 昭仁・中澤 勇次
- 5 事務局員 高根総合支所長 土屋 智  
地域市民課市民担当 中込 崇・興石 真吾  
地域振興課長 白倉 充久
- 6 議 題 (1) 平成31年度高根地域委員会予算使途事業について  
(2) 北杜ふるさと祭り構想委員の選出について  
(3) その他
- 7 公開・非公開の別 公開・非公開 (理由：非公開の場合は理由を記入)
- 8 傍聴人数 0人

- 1, 開 会 (事務局)
- 2, 高根総合支所長あいさつ
- 3, 高根地域委員会委員及び職員紹介
- 4, 地域委員会について
- 5, 正副会長の選任について
- 6, 議 事

議 長：議事の前に、議事録署名人として保坂行美委員と小島久委員を選任する。

議 長：それでは、第1号議案『平成31年度高根地域委員会予算使途提案事業について』事務局に説明を求める。

事務局：平成31年度高根地域委員会使途提案事業について説明（資料により説明）。

議 長：事務局より説明がされたが、補足で説明をさせていただきたい。（資料により補足説明）。  
その他に、ご意見及び質問等はあるか。

委 員：平成31年度の予算については昨年度旧委員が計画し、市長に説明をして決定したものである。皆様のご理解をお願いしたい。

議 長：その他に何かご意見等はあるか。

委 員：平成30年度からの継続事業がいくつかあるが、実績等の一覧があると内容が分かりやすい。

事務局：今回手元に実績資料を用意していないので、次回お示ししたい。

委 員：16番の新規事業の実施主体が農村女性の会とあるが、学校の子どもも参加できるのか。

事務局：現市長の施策である健幸北杜の「女性の活躍」に位置付けられた事業であるため、今回は農村女性の会に実施をお願いしている。

議 長：その他にはいかがか。

委 員：これらの事業を継続するうえで、人口が減っていくなか、将来的な予算の確保は可能なのか。

事務局：予算額は昨年度より6万9千円減っているが、市の予算編成時における方針もある。ご指摘のとおり、市として見直しを考えていく問題であると捉えている。

議 長：その他にはいかがか。

委 員：(委員一同) なし

議 長：第1号議案については、以上で終了とする。

続いて、第2号議案『北杜ふるさと祭り構想委員の選出について』事務局に説明を求める。

事務局：構想委員の選出について説明。なお、会長・副会長は自動的に委員となるため、5名のうち残り3名の選出を依頼。

議 長：3人の選出が必要だが、どなたか立候補者はいないか。

事務局：もし可能であれば、事務局より希望を述べさせていただきたい。

議 長：不安があれば委員は意見をするように。事務局側の希望は何か。

事務局：祭りに関わることなので、団体からの選出をお願いしたい。行政区長会・商工会・食生活改善推進委員会より、保坂委員・小島委員・手塚委員にお願いできないか。

議 長：事務局からの提案どおりでよろしいか。

委 員：異議あり。元気祭りについては協賛させていただいているが、商工会における決定は理事会でしているため、構想委員会における関与は難しい。よって、自分が構想委員会に入る意味がないように思われる。それよりは観光協会の方が適任だと思うが、いかがか。

事務局：意見として承る。観光協会の古屋委員が本日は欠席であるため、改めてこちらから打診したい。

議長：では、事務局より古屋委員に構想委員の依頼をするということによろしいか。

委員：(委員一同) 異議なし。

議長：第2号議案については、以上で終了とする。

次に第3号議案『その他』について、事務局より何か提案等はあるか。

事務局：民生児童委員の推薦委員の選出についてもお願いしたい。地域委員より2名が構成員となることとなっているため、こちらの意見で申し訳ないが、古屋会長と中嶋委員にお願いしたい。

議長：推薦する協力員ということで、自分と中嶋委員にお願いしたいとのことだがよろしいか。

委員：(委員一同) 異議なし。

委員：伺いたいのだが、北杜市の移住に関する高根町独自の対応はできないのか。

事務局：平成31年度4月より、長坂総合支所に総合窓口を設けて専門職員を配置している。

委員：移住に取り組むよりも、親のいない子どもを受け入れるなどして、人口減少に歯止めをかけるべきでは。今後はそういったことを具体的に考えていかなければいけないのではないのか。

事務局：昨年度、北杜市が10万人以下の住んでみたい田舎ランキング第1位となったが、本当に住んでみたいと思わせる魅力があれば、もっと人を呼び込めるのではないかと考えている。

委員：魅力は十分あると思うが。

事務局：なかなか打開策がない状況である。もし何か名案があれば、是非提案を頂きたい。

委員：野田委員のように若い人が北杜市の将来を考えていることに安心した。北杜市は自然などの魅力があるし、行政としても、もっとPRをしてはどうか。

事務局：小中学校の子ども数が急激に減っている状況にあるため、まずは少子化対策に力を入れる方が先ではないかと考える。

委員：子どもの出生数がそれほど減っているとは思えない。それよりも、恵まれない子ども達を北杜市が受け入れたり、子どもの安全を確保するために街灯を整備したりすべきではないのか。

事務局：本日はそういった資料を用意していないので、これ以上あまり詳しい回答はできない。

議長：その他に何か意見等はあるか。

事務局：指定管理者制度の選定委員についても、高根地域委員より1名選出しなければならない。浅川副会長にお願いしたいと思うが、いかがか。

議長：浅川副会長よろしいか。他に意見等が無ければ、第3号議案を終了する。以上をもって予定された案件が全て終了となったので、議長を下ろさせていただく。議事の進行にご協力をいただき、感謝する。

## 7, 閉 会

平成31年4月23日

議事録署名人 \_\_\_\_\_ 印

議事録署名人 \_\_\_\_\_ 印